

令和7年6月17日

コレクション展Ⅱ「森のなぞなぞ美術館Ⅵ あげちさん、いしづちさん」 の開催について

愛媛県美術館は、現在約12,000点のコレクションを所蔵しています。これらは、年に4～5回程度展示替えを行いながら、毎回さまざまなテーマを設定して開催する「コレクション展」で紹介しています。

このほど、森林環境税を活用したテーマ展「森のなぞなぞ美術館Ⅵ あげちさん、いしづちさん」をはじめ、企画展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」との関連展示など、盛りだくさんの内容で、下記のとおり「コレクション展Ⅱ」を開催いたします。

記

展覧会情報

1 展覧会名

コレクション展Ⅱ「森のなぞなぞ美術館Ⅵ あげちさん、いしづちさん」

2 内容

(1)「森のなぞなぞ美術館Ⅵ あげちさん、いしづちさん」

県土の約7割を森林が占める愛媛県。コレクションのなかにも森林と関連する作品が数多く収蔵されています。今年は、石鎚国定公園指定70周年を記念して、同山を生涯にわたって繰り返し表現した版画家、畦地梅太郎の作品と言葉から、山と作品の魅力に迫ります。また、特別招待作家として、ペインター・イラストレーターとして東京を拠点に活躍する友澤健太郎さん（愛媛出身）をお迎えします。友澤さんが本展にあわせて制作した県産材を使用したペイント作品や大型のウォールペインティングに加えて、畦地が数々の画文集を手掛けたように、手にとって絵と文と一緒に楽しめる新作のZINE（小冊子）とその原画も展示します。アートと森の出会いをゆっくりとお楽しみください。



POINT !

●今もアウトドアブランドのTシャツデザインに採用されている畦地梅太郎作品を代表作の「山男」も含めて一挙に展示！

●畦地にとって重要なモチーフであった故郷の山「石鎚山」を初期から最晩年の県文綴帳原画までご紹介。

すべて畦地梅太郎

上左：《石鎚霊峰》『伊予風景』より 1936年

上右：《石鎚山》『山の絵本』より 1955年

下：《石鎚山》（綴帳原画）1985年

友澤健太郎（ともざわ・けんたろう／1975ー ） 関連イベント

愛媛県立松山南高等学校砥部分校卒業後、関西でグラフィックやデザインを学ぶ。

現在は東京を拠点に、書籍、イラストレーション、ウィンドウディスプレイ制作等の多分野で活躍中。

明快な色彩とユニークな造形感覚が目を惹く作風で、昨年開催の愛媛アートブックフェアでは、メインビジュアルを手がけ、ウィンドウペインティングのイベントには200人近い人が集まりました。

公開制作「木をみて山をみる」+クロストーク

8月9日（土）

10:00～15:00 公開制作（エントランスホール／中庭）

当館の大きなガラス面いっぱいに絵を描きます。

どなたでもご覧いただけます。

15:15～15:45 クロストーク（常設展示室1・2）

友澤さんにご友人で久万高原の森で活動する【木こりの角谷】さん、おふたりに、森林や角谷さん提供の県産材を使用した新作についてお話しいただきます。

※いずれも申込不要。公開制作は無料。クロストークは、要観覧券。



(2)「コレクション・ハイライト」

こちらのコーナーでは、当館コレクションを代表する作家の作品や海外作品をはじめ、当館自慢の名品・逸品をご覧いただけます。また、同時期に開催する企画展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」にあわせて、関連する作品を当館コレクションを中心に紹介します。



POINT !

たくさんのアーティストと交流のあった谷川俊太郎さんならではの、当館コレクションや地元作家とのつながりをご紹介します！企画展とあわせてお楽しみください。

左：メダルド・ロッシ 《門番の女》1883年

右：元永定正 《作品（62-01）》1962年

3 会期 令和7（2025）年6月24日（火）～9月5日（金）

開館時間 9:40～18:00（入場は17:30まで）

休館日：毎週月曜日

（祝日、振替休日及び第1月曜日にあたる場合は、開館し、その翌日が休館日）

4 会場 愛媛県美術館 本館2階 常設展示室1・2

5 観覧料 大人340円（団体270円）、大学・高校生230円（団体180円）

※小中学生、65歳以上の方、障がい者手帳等をお持ちの方（介護者含む）は無料。団体は20名以上。※企画展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」をご覧の方は、当日に限り本展もご覧いただけます。

【提供画像一覧】

※チラシ・ポスター画像も含め、下記の画像を希望される方は愛媛県HP お問い合わせフォームにてご連絡ください。 ※クレジット表記をお願いします。

	
<p>畦地梅太郎《石鎚霊峰》『伊予風景』より 1936年</p>	<p>畦地梅太郎《石鎚山》『山岳版画集I』より 1946年</p>
	
<p>畦地梅太郎《石鎚山》『山の絵本』より 1955年</p>	<p>畦地梅太郎《石鎚山》（緞帳原画） 1985年</p>
	
<p>畦地梅太郎《山の家族》 1973年</p>	<p>畦地梅太郎《親子よろこぶ》 『山のぬくもり』より 1978年</p>
	
<p>メダルド・ロッシ 《門番の女》 1883年</p>	<p>元永定正 《作品(62-01)》 1962年</p>

(問い合わせ先) 〒790-0007 松山市堀之内 愛媛県美術館 学芸課 喜安、宇野

TEL.089-932-0010/FAX.089-932-0511

石鎚国定公園指定70周年

あぜちさん

あ

R7年度アートプロジェクト



森のなぞなぞ美術館VI

いし

やなぎ

2025年 6月24日 [火] - 9月5日 [金] 本館2階 常設展示室1・2

開館時間 9:40-18:00 (入場は17:30まで)

休館日: 毎週月曜日 (第1月曜日開館、翌火曜日休館・月曜日が祝日の場合は翌火曜休館)

愛媛県美術館

住地梅太郎《親子よろこぶ》(部分)「山のぬくもり」より1978年 愛媛県美術館



あぜちさん、いしづちさん

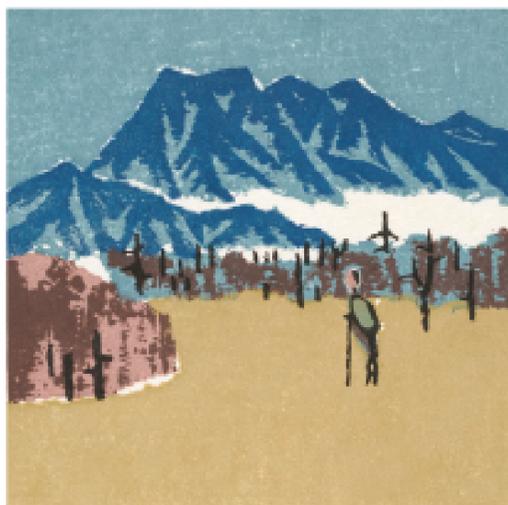
県土の約7割を森林が占める愛媛県。コレクションのなかにも森林に関連する作品が数多く収蔵されています。今年、石鎚国定公園指定70周年を記念して、同山を生涯にわたって繰り返し表現した版画家、畦地梅太郎の作品と言葉から、山のもつ魅力に迫ります。また、特別招待作家として、ペインター・イラストレーターとして東京を拠点に活躍する友澤健太郎(愛媛出身)を迎えます。本展にあわせて県産材を使用したペイント作品や大型の絵画作品を新たに制作し、畦地が数々の画文集を手掛けたように、手にとって絵と文と一緒に楽しめるZINE(小冊子)とその原画も展示します。アートと森の出会いをゆっくりとお楽しみください。



畦地梅太郎《山の家族》1973年



畦地梅太郎《山小屋の老人》1953年



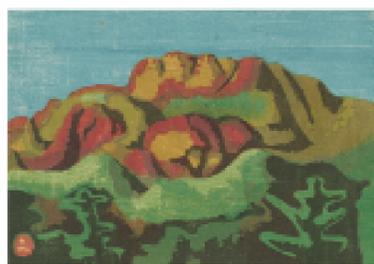
畦地梅太郎《石鎚山》『山の絵本』より1955年



畦地梅太郎《石鎚山》(縮小原画)1985年



畦地梅太郎《石鎚山》『伊予風景』より1936年



畦地梅太郎《石鎚山》『山岳版画集1』より1946年

すべて愛媛県美術館蔵

関連プログラム

インスタLIVE

「畦地さんの石鎚山」

展示室から本展のみどころをお伝えします。

【日 時】6月27日(金)19:00~(15分程度)

【講 師】吉安 嶺(専門学芸員)

※申込不要、参加無料

わくわくワークショップ

「木鳥(コトリ)をつくろう」

木っ端を組み合わせて、ユニークな鳥をつくりませんか。(鋸や金槌も使ってみよう!)

【日 時】7月6日(日)、7月20日(日)

各日①10:30~11:30

②14:00~15:00

【場 所】南館アトリエ2

【対 象】どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

【定 員】12名

【材料費】150円程度 ※要申込

ワークショップ「あぜちかるた」

畦地梅太郎作品をみながら、かるたの言葉を考えてみんなでゲームをしましょう。

【日 時】①7月21日(月・祝)②8月15日(金)

各回10:30~12:00

【場 所】本館2階常設展示室1・2

【講 師】鈴木 有紀(専門学芸員・担当係長)

【定 員】各回10名

※要申込、要観覧料(小中学生は無料)

山の日レクチャー

「地質からみた石鎚山の成り立ち」

畦地作品に表現された石鎚山や浅間山、甲斐駒ヶ岳を比較して、石鎚山の特徴を踏まえつつ、どのようにできたか、一緒に考えながらお話しします。

【日 時】8月11日(月・祝)14:00~15:15

【場 所】本館1階多目的ルーム

【講 師】山根 勝枝(県総合科学博物館 専門学芸員)

【定 員】20名(先着順) ※申込不要、参加無料



イベントの
申込方法や
展覧会詳細は
こちらから!

公開制作

「木をみて山をみる」

数多くの窓に絵を描き、みる人を笑顔にしてくれた友澤さんが、本展にあわせてエントランスホールのガラスに大きな絵を描きます。制作のようすはどなたでもご覧いただけます。

【日 時】8月9日(土)10:00~15:00

※休憩等をはきみながらの制作となります。

【場 所】本館エントランスホール/中庭

【出 演】友澤 健太郎(ペインター・イラストレーター)

※申込不要、参加無料

WakWak Workshop



イメージ図

油絵が描かれる画布を裏で支える木枠に注目!木の枠に絵を描き、好きな写真や絵を飾るフレームに変身させます。

【日 時】8月10日(日)14:00~15:00

【場 所】本館1F多目的ルーム

【講 師】友澤 健太郎(ペインター・イラストレーター)

【定 員】10名

【材料費】1,500円 ※要申込



友澤 健太郎

(ともぞわ・けんたろう 1975-)

ペインター/イラストレーター。

愛媛県立松山南高等学校紙部分校を卒業後、関西でグラフィックやファッションを中心としたデザインを学ぶ。以後、個展やPOP-UP等で発表を重ね、現在東京を拠点に書籍表紙、雑誌イラスト、ポスターやウィンドウディスプレイ制作など他分野で活躍している。



【交通案内】※駐車場は、県庁西駐車場(2時間無料)をご利用できますが、駐車台数に限りがあり、混雑が予想されるため、公共交通機関等のご利用をお願いします。

◎伊予鉄道「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩3分。

「松山市駅」徒歩5分。

観覧料 個人 団体(20名以上)

一般 340円 270円

高大生 230円 180円

※企画展チケットで本展もご覧いただけます。※次の方は、無料でご覧いただけます。中学生以下、満65歳以上の方、障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名

愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL.089-932-0010 / FAX.089-932-0511
<https://www.ehime-art.jp/>

